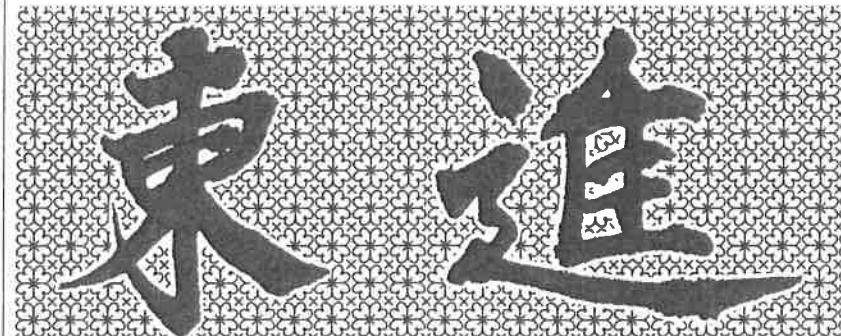


第 8 号

平成 7 年
10 月 1 日題 字
植木 満会長

発行所

土浦一高東進会

茨城県立土浦一高
東進修同窓会支部
東京支会部事務局 〒101 東京都千代田区神田神保町 2-14 朝日神保町プラザ 801 号
千代田法律会計事務所内 ☎03-3262-0310 FAX03-3262-0648

霞ヶ浦からの筑波山

平成七年度の東進会総会が六月九日（金曜日）に、芝の東京プリンスホテルにおいて、夜六時三〇分より開催されました。今回は例年ない夜の開催で集まり具合が心配されましたが、一二五名の会員が参集し、盛況の内に終りました。

土金雅晴副会長の高一二回卒が当番幹事で、総会・懇親会の企画進行をお願いいたしました。進行役の土金氏の開会宣言で始まり、植木満会長（中三二回）の挨拶、芳尾敬一代表幹事（高五回）の活動報告に続き、六年度の決算報告を幕内邦夫会計幹事（高二〇回）が、監査報告を植木和男監事（中四三回）が行いました。続いて七年度の予算案を大野金一支部幹事（高八回）が行い、新役員の承認で坂本善之副会長（高八回）が副会長を退かれたので、新たに露木修氏（高八回）が副会長に承認されました。

青山和義校長（高八回）から、母校の創立百周年記念の募金・寄付金の集まり具合や、進学状況、部活の活躍などの報告がありました。土方登志子副会長（高九回）から閉会のお言葉をいただき総会は終わりました。

続いて、二部の懇親会に入りました最初にアトラクションで、両国相撲甚句会の会員四人による太鼓・相撲甚句が披露され、「触れ太鼓」「一番太鼓」

平成七年度
東進会総会を終えて

「ハネ太鼓」などのリズミカルな音を注釈入りで聞き、貴ノ花が大関になつたときにできた「花の兄弟」の歌を佐藤若子女性会長が歌い、会長の工藤明氏には、茨城県の名所を歌つた甚句を聞かせていただきました。

長戸琴さん(高一八回)と姥原芳和氏(高三回)のおなじみのコンビの司会で懇親会は進められ、現在、都民大学教授の茂在寅男氏(中三〇回)に乾杯の音頭で「明らかに、明るく生活、益々元気に」とのお言葉をいただきました。また、昔の進修同窓会の資料を持つてこられて、見せていただきました。

会場内の各テーブルでは、名刺交換や歓談をしたり、写真を撮ったり、なごやかに進み、姥原芳和氏の「レツツ・クリーンアップ・ザ・レイク」の歌の披露や、カードの番号による抽選会もあり、番号を呼ばれる度に会場内でドヨメキが上がったり拍手がおこつたりして盛り上りました。

鈴木良治氏(高二二回)のリードで校歌を四番まで力強く齊唱し、露木修副会长より「会えて良かった。また、会いましょう。」と閉会の挨拶をいただき盛会のうちに終了いたしました。

平成八年度 土浦一高東進会総会

(日時) 平成八年六月一五日(土)

午後一時～四時

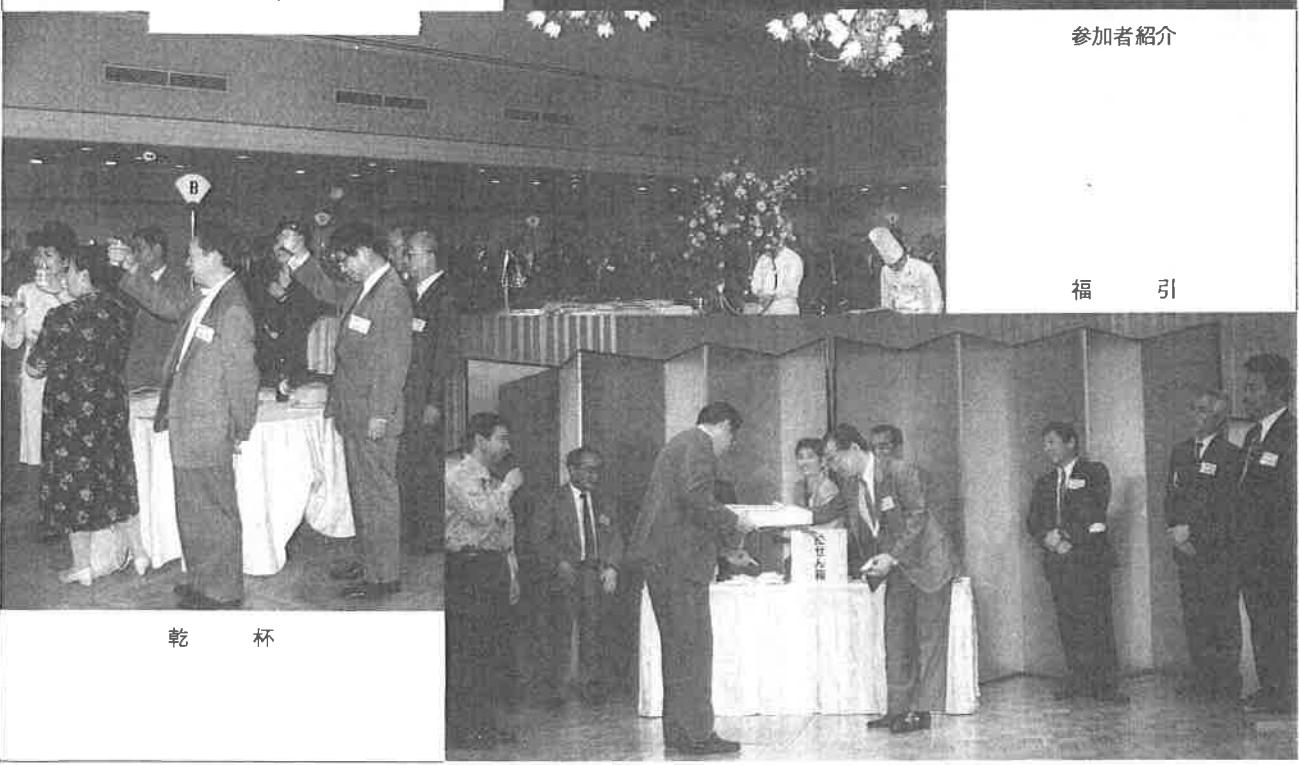
(場所) 東京プリンスホテル
港区芝公園三一三一一



相撲甚句

↑×100
P.3-1-(1)

参加者紹介



乾 杯

福 引

(3) 平成7年10月1日

旧制土浦中学・土浦高女昭和20年卒業生
戦後50年卒業50年記念・記念誌

戦いのなかの青春

一八月一五日刊行・大きな反響呼ぶ

桜花爛漫・陽気発する去る四月一〇日

当時一五・一六才であった土中四回生

生と土浦高女本科三九回生が「第一海軍

航空廠勤員学徒の集い」を盛大に挙行い

たしました。この中で参加者一同平和を祈

念すると共に久闊を叙し、また懐旧の念

去り難く、感激に浸つた一日を過ぎしま

した。そしてその想いを温め、当時のこ

とを後世に遺すべく記念誌発行を志し、

編集委員会を結成、全員力を合わせて、

八月一五日遂に記念誌「戦いのなかの青

春」を発行いたしました。

内容は、集い当日の記録、動員時代の

日記、回想録、懐かしの写真等の四部構

成ですが、航空廠寄宿舎の食事献立記

録も今回発見されて掲載出来、立派な

記録書にもなりましたので、国会図書館、茨城県立図書館及び県内全市町村

の教育委員会に寄贈いたしました。ま

た、記念誌発刊は新聞各紙にも報道さ

れ大きな反響を呼びつづけます。

まことに卒業式らしい卒業式もしてい

なかつた私達勤員学徒にとって、五〇年

後に完成した卒業記念誌になりました。

出版を記念しての祝賀会兼語る会は、

九月一〇日土浦市に九八名が参考集し、

この記念誌を活用しながら当時の事を

伝える「平和を希求する語り部」とな

りましようと誓い合つた次第でした。

(問い合わせ先 渡邊光夫)

電話 ○四二五・八一・一四六五

(17) 地域



戦時下の青春回顧 土浦で「動員学徒の集い」



1995年(平成7年)4月11日 火曜日 (32)

朝日新聞



1995年(平成7年)3月20日 木曜日

悲劇起こらぬよ 来月10日、土浦中・土浦高女・動員



1995年(平成7年)3月20日 木曜日



1995年(平成7年)3月20日 木曜日



1995年(平成7年)3月20日 木曜日



1995年(平成7年)3月20日 木曜日



1995年(平成7年)3月20日 木曜日



1995年(平成7年)3月20日 木曜日



1995年(平成7年)3月20日 木曜日



1995年(平成7年)3月20日 木曜日



1995年(平成7年)3月20日 木曜日



1995年(平成7年)3月20日 木曜日



1995年(平成7年)3月20日 木曜日



1995年(平成7年)3月20日 木曜日

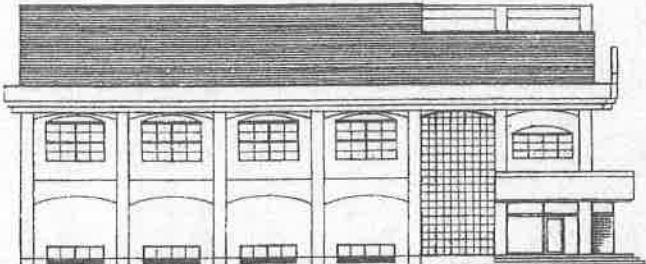


1995年(平成7年)3月20日 木曜日

同窓会館 兼 アリーナ



北側立面図



東側立面図

母校創立百周年記念事業

進修同窓会では、平成九年に創立百周年を迎える母校に同窓会館の建設計画が決議され、各種の実行委員会が組織されて実務を進めています。

募金委員会では、卒業各学年毎に募金目標額を設定し、募金活動をしていますが、九月十六日現在の募金達成状況をお知らせします。

中二六回生から高一〇回生までの大部分の学年で目標額を達成していますが、高二一回生以後は、まだ目標額にほど遠く、一人でも多くの方々にご協力をお願いします。

会員いんふおめーしょん

☆平成七年度関東弁護士会連合会の副理事長に、大野金一氏（高八回生）が選任されました。

略歴 昭和三一年三月土浦一高卒業、東京大学法学部を卒業後、自治省を経て弁護士となる。

☆参議院議員選挙比例代表区で、渡辺孝男氏（高二〇回生）が、新進党より立候補し、当選しました。

略歴 昭和四三年三月土浦一高卒業、東北大学医学部を卒業後米沢市立病院脳神経外科科長を経て参議院議員となる。

☆茂在寅男氏（中三〇回生）出版記念祝賀会 「超航海・英雄伝説の謎を追う」



編集後記

戦後五〇周年の今年の夏は記録的な猛暑でしたが、会員の皆様はいかが過ごしましたか。

東京プリンスホテルでの夜の時間設定の総会も無事終えまして、当番幹事の皆様、本当にご苦労さまでした。次回は、高校一四会卒業と高校一六回卒業の皆さんのが当番幹事になります。期待しています。

会員いんふおめーしょんの記事になりましたら、どしどし事務局までお知らせ下さい。

会場 日本海運クラブ（千代田区平河町）
会費 八、〇〇〇円
連絡先 丸の内茂在会・八木政幸
(電話) 〇四二四一八九一〇一四八

☆西丸式人氏の個展
昨年に続き今年もギンザ・ギャラリーで、西丸式人氏（高一七回生）の水彩画による個展が、七月三日から十五日まで二週間行われました。

昨年は、パレリーナや風景画の展示で、今年はタヒチの果物の静物画や風景画約二〇点が色鮮やかに展示されています。

西丸氏は、東京芸術大学卒で、イラストの仕事をする一方、水彩画や色鉛筆画などの技法書も多数手がけています。

また、日本酒通で、都内の日本酒の旨い店はたいてい知っています。

なお、本人はピンボーカな絵描きと言っています。

夏の高校野球甲子園大会は、東京代表の帝京高校が優勝し幕を閉じました。茨城県大会の母校土浦一高の戦いを紹介します。

初戦は七月九日立市民球場にて佐

竹高校と対戦し四対〇で勝利、二回戦は七月一五日ひたちなか球場にて勝田高校と対戦し三対二で勝利、三回戦は

強豪常総学院に四対〇で敗れてしましましたが、選手たちは一生懸命頑張っていました。応援してくれました同窓生の皆さん、本当にありがとうございました。

母校野球部だより